

未来に繋がるまちづくり委員会 基本方針（案）

未来に繋がるまちづくり委員会 委員長 久保 隆佳

見えない恐怖の中での生活を余儀なくされた2020年春。新型コロナウイルスの影響で、経済活動に大きな打撃が出ている事は否めません。個人消費面でも、外出自粛に伴う来客数減少で、百貨店やスーパー、また飲食業界などを含む、あらゆる分野の企業売上が冷え込んでしまいました。そして教育面でも休校が続き、遊び場を無くした子供達への影響は多大です。さらに、旅行・観光への影響も深刻で、佐賀県内への観光も急速に悪化している現状でもあります。私たちが暮らす佐賀市。先人たちから守り繋いできた、この豊かな自然を大切にし、後世にも引き継いでいく、子供達が大好きなふるさととして誇れる街をつくりあげていくことが必要です。

まずは、1972年に「納涼さがまつり」から始まった「佐賀城下栄の国まつり」が本年で50回目を迎えます。まつりの代名詞ともなっている「佐賀城下花火大会」。諸先輩方が長きに亘り受け継いでこられた想いや歴史を背負い、また昨年の委員会の方々の想いも乗せて、今まで以上に深く想い出に残る感動的な事業を目指します。行政や他団体、関係機関との連携を強化した運営に徹し、まつりに参加した市民の皆様への活力と、未来への明るい希望に繋げていくのが最大の目的です。そして、新型コロナウイルスの影響で、各種スポーツ大会が中止せざるを得ない状況となりました。このような「スポーツ」という観点からも、新たな「街づくり」を発信できるものと考えています。「佐賀城下栄の国まつり」と「スポーツの魅力が街をかえる」を同時開催することで、より多くの方たちにスポーツの魅力・文化を再認識していただき、大人から子供まで幅広い世代にスポーツの楽しみや喜び、心の豊かさに繋げていけると確信します。また九州地区野球大会も、ここ佐賀の地に開催が決まり、県外のチームの方々が訪れる絶好のチャンスです。佐賀市民はもちろん、県外の方にも佐賀の魅力を肌で感じていただけるよう、自然、食の方面でも事業を通して一般社団法人佐賀青年会議所が志高く、発信していきます。

「佐賀城下栄の国まつり」が50回目を迎えて改めて佐賀の良さを知って頂くと共に、新しい生活様式の中で、佐賀青年会議所メンバー一人ひとりが更に一丸となって活動を開することが大切だと感じます。志を同じく闘う～現在を生き抜き次世代に繋ぐ～、こそ我々が目指す未来に繋がる街づくりです。

27

28 [事業計画]

- 29 1. 佐賀城下栄の国まつり企画、運営
- 30 2. 九州地区野球大会

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

- 31 3. ○○○○○○○○○○
- 32 4. ○○○○○○○○○○
- 33 5. ○○○○○○○○○○
- 34 6. 会員拡大 拡大目標 名 通年